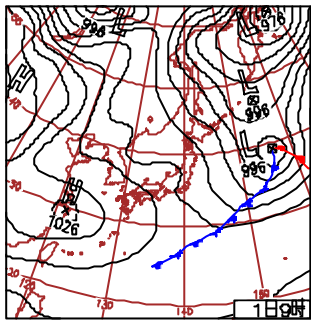


2004年 1月

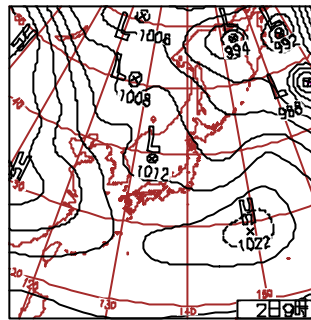
- 8日、北海道の道東地方を中心に暴風雪・高波。釧路・帯広で約25cmの大雪。
- 13～16日、動きの遅い発達した低気圧により、北日本を中心に大荒れ。札幌の最大瞬間風速31.4m/s。オホーツク海側の北海道北見市では日降雪量53cm。
- 21～23日、真冬並の寒気が入り、北日本や日本海側で大荒れ。金沢市では約50cmの降雪。

(気象庁予報部予報課)



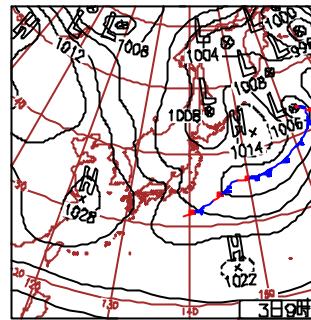
1日(木)全国的に穏やかな元日

日本付近は大陸から張り出す高気圧に緩やかに覆われ、全国的に穏やかな元日。日本海側でも晴れ間がのぞく。気温は全国的に3月並。新島・神津島近海では地震続く。



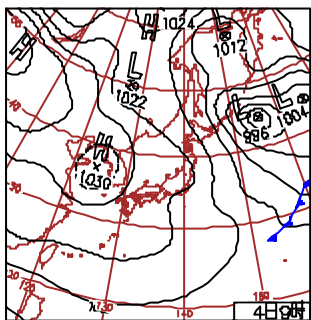
2日(金)箱根駅伝始まる

気圧の谷が北日本を通過。北日本は雪、東・西日本の日本海側は雨。関東から西の太平洋側では晴れ。最高気温は全国的に平年より高く、関東は平年より3℃以上高い3月下旬並。



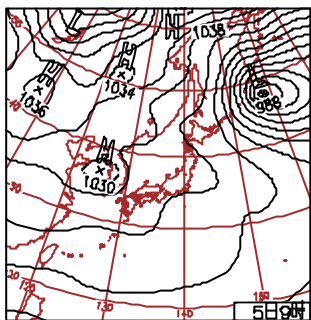
3日(土)Uターンラッシュ始まる

北日本を中心に寒気が入り、北陸から北の日本海側は雪や雨。その他は晴れ。東・西日本の日中の気温は平年より2～5℃高い。Uターンラッシュで各地の交通機関混雑。



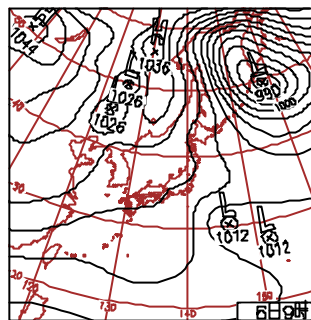
4日(日)米探査車 火星に着陸

日本付近は大陸から張り出す高気圧に緩やかに覆われ、全般に晴れ。NASAの小型無人探査車「スピリット」が火星表面への着陸に成功。



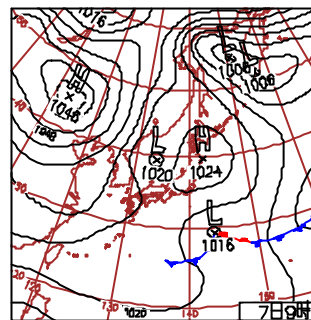
5日(月)穏やかな仕事始め

カムチャッカ半島の南で低気圧が発達し、北海道オホーツク海側は雪。南西諸島は気圧の谷の影響で曇りや雨。その他は概ね晴れ。高松で平年より18日早く梅が開花。



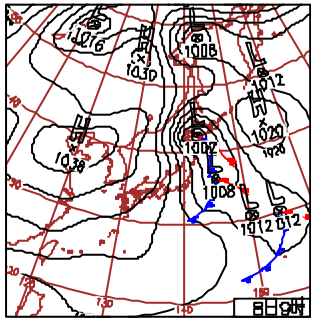
6日(火)「北冷西暑」の小寒

日本付近は高気圧に緩やかに覆われ、ほぼ全国的に晴れ。最高気温は、北日本で平年より2～5℃低く、西日本や南西諸島では平年より2～4℃高い。三重と奈良で震度4の地震。



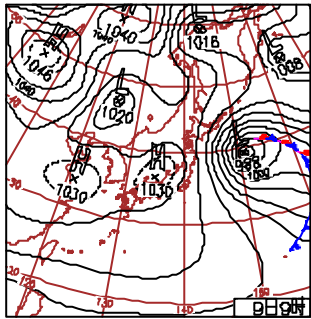
7日(水)札幌で雪像作り開始

北日本にある高気圧に覆われ、日中はほぼ全国的に晴れ。日本海で低気圧が発達し、夜には北陸から北の日本海側で雨や雪。札幌では雪祭りにむけた雪像作りが始まる。



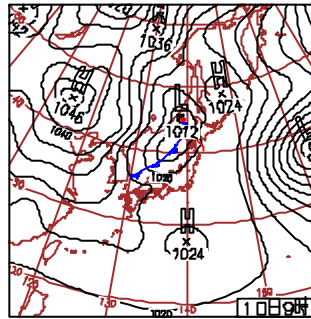
8日(木)北日本 大荒れ

発達中の低気圧が北日本を横断。北日本は午前中を中心に暴風・高波や大雪。北海道東部の釧路・帯広で25cm前後の降雪。その他太平洋側や南西諸島は晴れ。



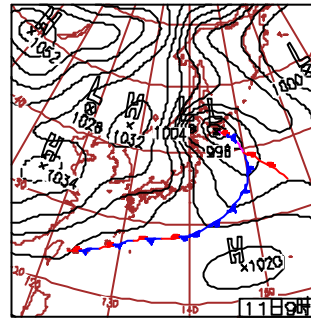
9日(金)横浜でタンポポ開花

高気圧に覆われ、日中はほぼ全国的に晴れ。気圧の谷が接近する九州州では、午後には曇りや雨。横浜では平年より14日早くタンポポが開花。



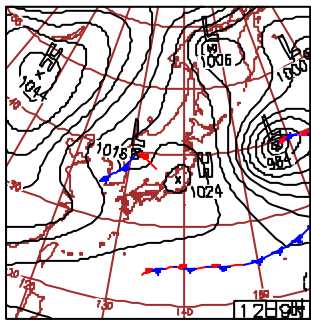
10日(土)北の空 欠航相次ぐ

低気圧が発達しながら北海道を横断。山陰から北の日本海側で雨の所多く、北海道では雪。新千歳空港は湿り雪のため計115便が欠航。日中の気温は全国的に平年より高め。



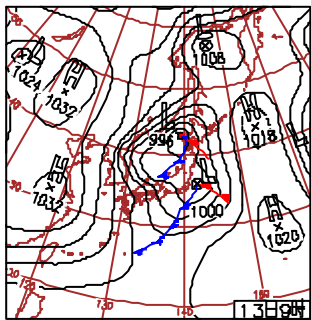
11日(日)北日本 暴風雪

北海道の東海上で低気圧が発達し、冬型強まる。北日本は大荒れ、本州の太平洋側は概ね晴れ。北海道浦河町で最大瞬間風速31.2m/s。北日本は30～40cmの降雪。



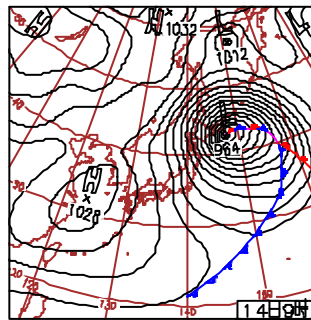
12日(月)穏やかな成人の日

本州付近は高気圧に覆われ、冬型気圧配置緩む。北海道の一部で雪の他は全国的に晴れや曇り。東京で初氷を観測。平年より32日遅く、1925年以降最晩の記録。



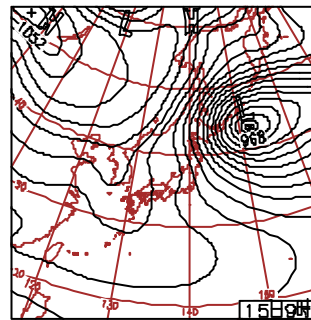
13日(火)西日本から風雪強まる

低気圧が三陸沖で急発達し、北日本や日本海側は大荒れの天気。北海道帯広は28cm/6hの降雪。暖気の影響で北日本では最高・最低気温とも平年より2～6℃高い。



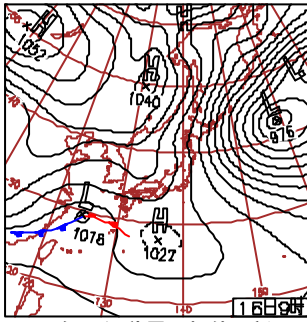
14日(水)北日本 大荒れ

千島付近で猛烈に発達した低気圧により北日本を中心に大荒れの天気。札幌で最大瞬間風速31.4m/s、北海道北見市で日降雪量53cm。北海道の空港では240便が欠航。



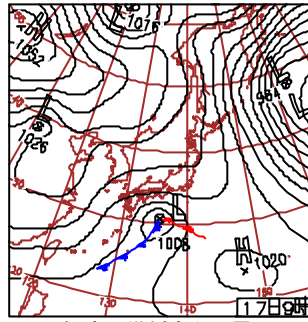
15日(木)北海道の交通機関混乱

北日本は引き続き暴風雪。北海道では暴風雪・大雪・高波による交通機関欠航・運休が相次いだ他、停電や断水も発生。関東以西の太平洋側や南西諸島は晴れ。



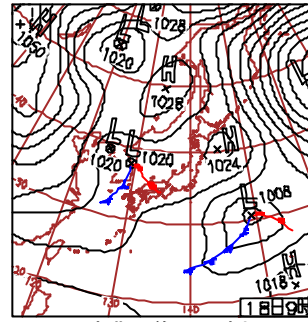
16日(金)最深積雪の極値更新

北日本の大荒れの天気は峠を超える。西日本や南西諸島は低気圧や前線の影響で曇りや雨。強い雪が続いた北海道のオホーツク海側の北見市等では最深積雪の記録を更新。



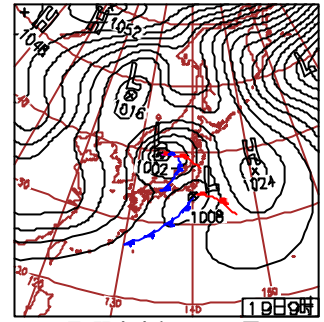
17日(土)太平洋側中心に雪

低気圧が本州南岸を東進し、東・西日本の太平洋側を中心に広い範囲で雪や雨。阿蘇山頂では41年ぶりに積雪60cm以上。北日本は概ね晴れ。北見枝幸で平年より6日早く流水初見。



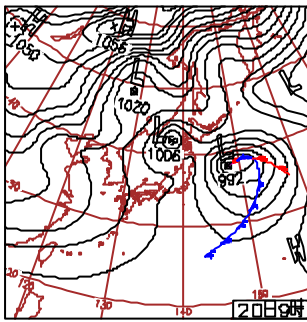
18日(日)南北の差40以上

西から気圧の谷が接近し、全国的に晴れのち曇り。最低気温は北海道上川支庁の占冠村で-27.3、沖縄県の与那国島で17.4でその差44.7。神戸で初霜。



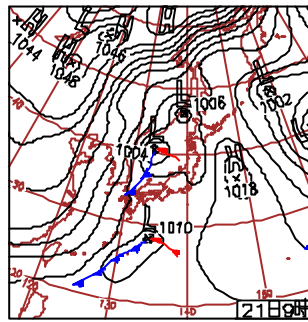
19日(月)関東南部で雨や雪

日本海と関東沖に低気圧が進む。日本付近は深い気圧の谷の中に入り、全国的に曇りや雨・雪。最低気温は全国的に高いが、北日本は軒並み冬。北海道別海町常盤で2度の震度3。



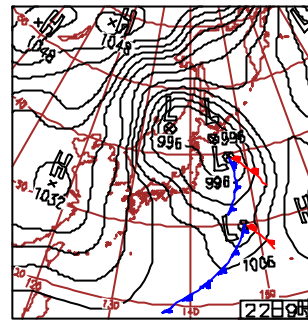
20日(火)温かさは「東高西低」

西日本には寒気、北日本は暖かい空気が流れ込む。このため、最高気温は九州～沖縄で平年より2～3低い真冬並。関東より北は2～4高い3月上・中旬並。



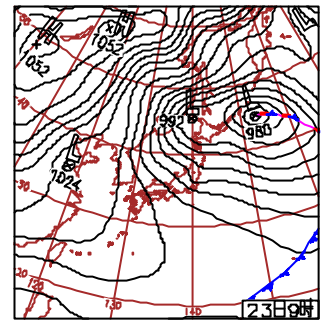
21日(水)東京で梅開花

日本海北部と中部、沖縄付近に低気圧があって日本付近は気圧の谷の中に入る。全国的に曇りや雨・雪。東京・静岡等で梅が開花。宗谷岬で平年より20日早く流水接岸。



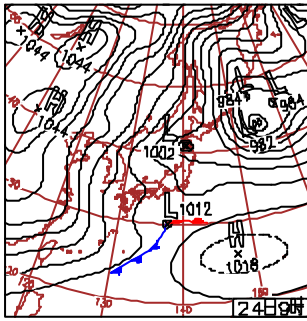
22日(木)冬型戻る

日本海側を中心に大雪や暴風雪。輪島の上空5000mでは21時に-42.7、月間最低。九州の交通機関は前日に続き混乱。積雪のなかった金沢市では21日からの雪で積雪49cm。



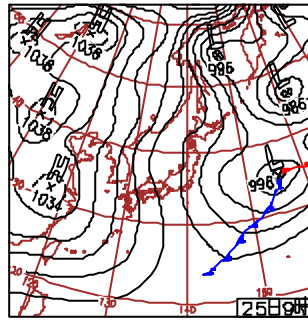
23日(金)北日本大荒れ

強い冬型続き、北日本の日本海側は大雪や暴風雪・高波、太平洋側は晴れ。最低気温は南西諸島を除いてほぼ全国的に氷点下となり、和歌山県では那智の滝が凍結。



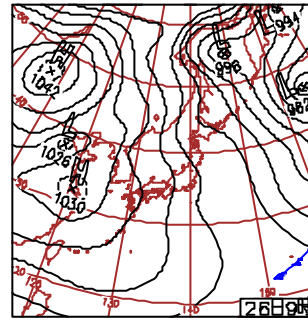
24日(土)寒気の影響は一段落

全国的に強い寒気に覆われ、九州・沖縄では最高気温が平年より5～8低い。新たな寒気の流入はなく、一昨日来の日本海側の降雪への影響は一段落。



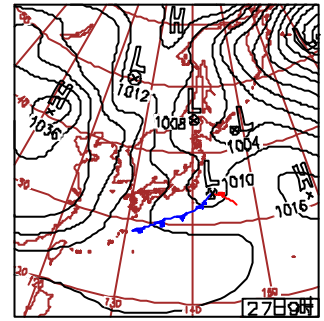
25日(日)大阪国際女子マラソン

強い寒気居座り、冬型の気圧配置再び強まる。大阪国際女子マラソン開催。日中でも5以下の寒さでスローペースの中、坂本直子選手が優勝。



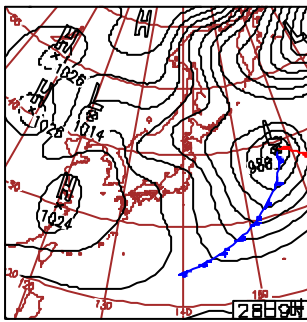
26日(月)寒干し大根作り

日本海側の所々で雪、その他は概ね晴れ。最高気温は北海道で平年より高く、その他は低い。横浜で梅が開花。岐阜県神岡町では特産の寒干し大根作りのシーズン。



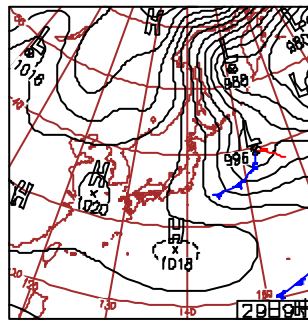
27日(火)房総では早春の訪れ

日本海側の雪は弱まり、ほぼ全国的に曇りや晴れ。最低気温は、東日本以北で平年より高く、その他は低い。房総半島の南端では色とりどりの花が咲き早春の様相。



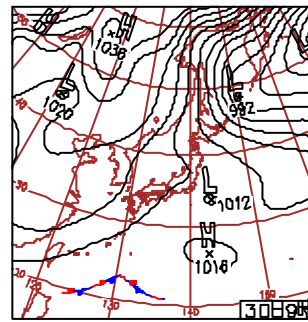
28日(水)北見枝幸に流水接岸

アリューシャン列島の発達した低気圧はゆっくり西進。このため、オホーツク海では北よりの風が続く。北海道北見枝幸で平年より3日早く「流水接岸初日」。



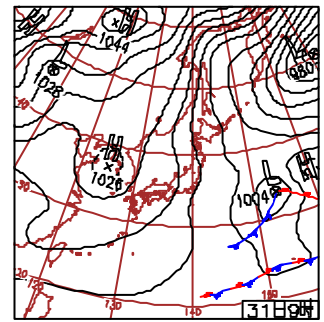
29日(木)3月の暖かさ

北日本～西日本は高気圧に覆われ、日本海側も含めて概ね晴れ。南西諸島は気圧の谷の影響で曇りや雨。東日本～九州の最高気温は、平年より2～4高い。



30日(金)冬型緩む

弱いながらも冬型の気圧配置が続く。日本海側の北日本では雪だが北陸から山陰では雨。中国大陸(華中)の高気圧が移動性となって東に移動し始めると春の兆し。



31日(土)諏訪湖で御神渡り

北日本や北陸の一部で雪の他は全国的に晴れ。東京の1月の降水は3.5mmで23年ぶりの少雨。諏訪湖では湖面の氷に亀裂が入り、鞍状に隆起する「御神渡り」が2年連続で出現。